



日経225先物 デイリー・コメント

日経平均をぶち壊す。

今度という今度は、短期、中期で、徹底的にやるつもりだ。

新興市場は、スケールの大きい下落が予想されるが、日経も、これに追随すると思われる。

日足3羽ガラスは、大幅下落のはじまりにすぎない。短期で、ボラが大きく膨らみ、オシレのキツイ下げが何度となく繰り返されるだろう。

今後、大きなギャップが空いたら、要注意だ。埋めるまでに、最悪で7.7ヶ月下落すると見ている。

短期的にも、抵抗感なく、棒下げに終始する日が何日も続く。
多くの投資家は、ここで、すべてを失うことになるだろう。

直近で、踏み上げを食った売り方は、しばらく売ってこないのは、わかっているが、むしろ、記録的に長く続いたジリ上げ局面に慣らされた、買い方のロスカットの遅れが命取りになると見ている。いや、もうすでに、そのような状況が散見されている。

いったん下げだすと止まらない、空売り規制の副作用。

上昇のボラは小さく長く、下落のボラは目を疑うほど大きい。
SARを垂直に叩き割り、ボリンー3σを叩き割りながら、歯止めのきかない下落が一貫して続くことになるだろう。

毎度のことながら、繰り返され、目にしてきた光景だ。

怖いのは、何か政治的な理由を背景として、下落が説明されるステージへ相場が移行したときだ。

このとき、相場は、下落シナリオの中盤から終盤へ移行し、理不尽なまでに下がる。

新興市場も日経も変わらない。

上げているとき、下げているとき。

時として相場は、狂気的な振る舞いを見せる。
その狂気を演じる、群衆のひとりひとは、ごく正常な人格者であり、人格者であればあるほど、狂気に加担するものだ。

その狂気とは、

リスク管理という名のもとの狂気。
順張りアルゴリズムの狂気。
そして、政治という名のもとの、狂気なのである。

相場参加者に人格者が多ければ多いほど、相場は、非人格者的に振る舞い、非人格的な行動によって、制御されことになるだろう。

以上